

第2期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム（第3回）の様態について

平成 29 年 12 月 22 日

日 本 証 券 業 協 会

1. 概要

本協会は、平成 29 年 12 月 22 日（金）、第 2 期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム（第 3 回）を開催した。

当日は、神田座長をはじめ、委員ほか計 24 名が参加し、議論が行われた。

2. 次第

まず、飯田研究委員（写真右）から、本フォーラムにおいて取り組んだ現在の研究成果として、「公開買付規制における特別関係者概念」について発表が行われ、同研究委員からの説明内容に関して意見交換が行われた。

次いで、砂川研究委員（写真下）から、本フォーラムにおいて取り組んだ現在の研究成果として、「日本におけるアナリストの利益相反規制の影響 – アナリスト・レーティングに対する株価反応の検証 –」について発表が行われ、同研究委員からの説明内容に関して意見交換が行われた。



意見交換では、両研究委員からの研究成果の説明に対して、出席者から、研究成果に対する感想、研究手法の詳細を確認する質問のほか、研究内容に対する指摘や助言が寄せられた。

特に飯田研究委員からの説明に関しては、英国、米国等の海外事例を踏まえた規制のあり方やそれに伴う影響等を中心に、また、砂川研究委員からの説明に関しては、規制導入当時のアナリストを取り巻く状況や、検証により得られた結果の解釈などについて、活発に意見が交わされた。

以 上